

視点1：全教職員で取組を推進するための組織運営

《取組内容》

1 目指す資質・能力の重点を全教職員で協議・確認

- ・自分で考える力が弱い⇒**自己調整力**の改善が必要
- ・無解答率の減少

2 全校学習オリエンテーションの実施

- ・学習する意義や目指す資質・能力を確認し、具体的手立てを示す

3 全校で自己調整能力向上に向けた家庭学習取組の確認

- ・夢ノートの活用、振り返りノートの充実と習慣化
- ・毎週月曜日は夢ノート取組の確認

4 研究部通信の発行

- ・県学調や校内アンケートの結果と考察から生徒のつまづきを共有し、目指す資質・能力向上に向けた見直しを行う

HRで夢ノートに学習計画を記入



振り返りノートで1日の学習を振り返る



《提言》

目指す姿を実現するために、
教師も生徒も一緒に取り組み
内容を共有する

視点2：学年や教科を超えた組織的な授業改善の推進

《取組内容》

1 教科運営計画書の作成

- ・年度初めに教科ごとに目指す資質・能力とその手立てを確認
- ・みんなで作った資質・能力の達成に向けた各自の取組を検討
- ・研究授業ごとに自身の取組の見直し

2 校内研究会の充実

- ・みんなですまずき及び実態について話し合い、みんなで「**自力**」という重点を定め、みんなでその達成に向けて取り組む
- ・3段階のグループ協議で充実した話し合い
 - ⇒グループ協議⇒他のグループの協議内容確認
 - ⇒再協議・次に活かすことの確認
- ・みんなが授業実践

3 年2回の互見授業

- ・若手と中堅がペアとなり、互いの授業を見合う
- ・授業参観シートで見る視点を明確にし、互いの授業から学ぶ

【研究主題】主体的に学ぶ生徒の育成 ～授業・家庭学習の改革を目指して～		主修員で 取り組む手立て	①単元のゴールをイメージした授業づくり・ ②協働学習による授業づくり・ ③学習者に選択させる場面を設定した授業づくり。
社会科学における 主体的な生徒の姿	「社会的な見方・考え方」を働かせ、社会的事象に関わる課題を追究できる生徒・ (視点や方法・考え方)		
社会科学における 主体的な姿を実現する手立て	①課題解決に必要な基礎知識の定着を図る ②単元シートを用いて、学習の見直しと振り返りに取り組む		
研究主題 達成に向けた具体的な取り組み			
授業	① 自力【粘り強い力】	② 自力【決めてやり切る力】	
	・授業で分らなかったことや理解できていなかったところについて、自分で調べたり、先生や友達に聞くことができる。 ・(ワークシートに記録スペースをつくる?) ・基礎学力の保障(基本用語の定着)	・学習課題の解決に向けて、自分で考えて取り組んでいる。 ・授業での見直しに対する振り返りを記入。 (新しい知識やスキルなど)	
家庭学習	・社会科学における苦手分野の見直しにつながる学習に取り組むことができる。 (発展及び記述問題にチャレンジ)	・社会の学習時間を設定して、勉強する。 (夢ノート、振り返りノート、選課題)	
校内研究会			
	① 自力【粘り強い力】	② 自力【決めてやり切る力】	
1回目 5/1	①コンパクトな導入 (授業後半の時間確保のため) ②複数の学習課題提示(ジャンプの課題)	①みんなの前で発表する機会の設定 (考えのズレをすり合わせ) ②キーワードの提示	
2回目 5/27	①前向きに取り組める雰囲気 ②一人ひとりに明確な役割を与える	①次時につながるまとめの共有 ②学習課題の途中経過を設定	
3回目 12/9	①選択肢を与えつつ、自由度がある。 ②メモすることによる安心感	①指示とフィードバックの丁寧さ ②単元のゴールにつなげる緻密な授業構想	
(主題達成に向けて必要だと久慈中・学生に必要なと感じる力) ① 話を聞く姿勢(アウトプットするためにインプット) ② 夢ノート、振り返りノートを活用したタイムマネジメント			

《提言》

みんなが授業実践
グループ協議で
お互いを高め合い
自身を授業改善
に活かす
他教科から学び、
自身を授業改善

視点3：調査結果の積極的活用

《取組内容》

1 県学調・CRT等の分析⇒定期テストに活かす

- ・全教職員で結果の共有と分析
- ・つまづきを授業の中で補充指導
- ・改善に取り組んだ内容を定期テストに取り入れ、事後分析

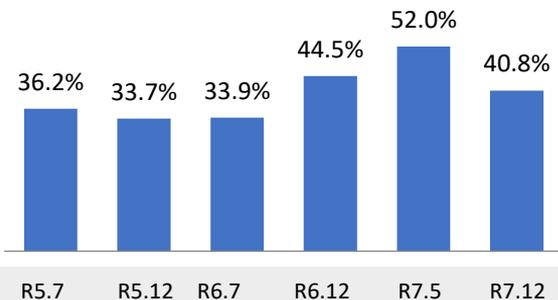
2 生徒アンケートの活用（年2回）

- ・結果から生徒の現状分析
- ・目指す資質・能力の重点の達成度の確認
- ・CAPDサイクルを回す

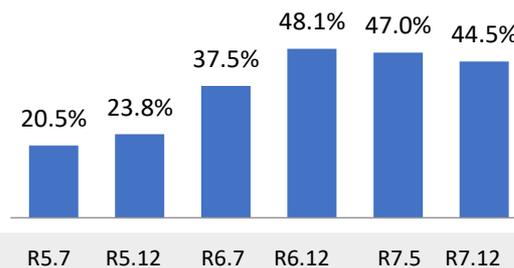


あきらめずに考え、解答する生徒の増加・無解答率の減少

自分で考え、取り組み課題解決している
(積極肯定の割合)



調べたり聞いたりして解決している
(積極肯定の割合)



《提言》

生徒一人一人をイメージし、その時の状況に応じて、必要な授業改善を進める